

人を
守る



人と街をまもる

西宮市消防局

HYOGO NISHINOMIYA



女性職員の声



Voice of female staff



西宮市消防局 女性職員の声

私らしく、誇りを持って。
全ては市民のために。

警防部 予防課 予防係長
階級 消防司令

平成15年入局。
警防隊、救急隊、予防課、署予防係長を経て、
令和5年より現職。
一男一女の母。趣味は、料理、ヨガ。
毎年、息子、娘それぞれと二人旅をするのが
楽しみ。

消防士の姿に憧れを抱く

Q. この仕事を選んだ理由は？

平成7年に発生した「阪神・淡路大震災」が起きた時、当時中学3年生の私は神戸で被災しました。あの未曾有の災害で、自らの命を顧みず、人々を救出する「消防士」の姿を目の当たりにし、勇気づけられると同時に「消防」という仕事に強く興味が湧くようになりました。調べるうちに、女性消防士が既に活躍している事を知り、迷わず「消防」という仕事に飛び込みました。



子供たちからのプレゼント。息子作のフクロウと娘作の風景画です。

業務に性別の壁なし

Q. 女性だから出来ない（出来る）業務はありますか？

西宮市消防局では女性だからと限定された業務はありません。男性と同様にあらゆる業務に従事できます。私も24時間勤務で機関員や警防隊、救急隊等を経験し、現在は毎日勤務者として予防業務に従事しています。また、女性はライフイベントが仕事に影響しやすいですが、消防の仕事は、多岐にわたり、選択の幅が広くあります。女性が仕事を続けることに向いている職種だと思います。様々な業務を経験し、あなたに合った業務を見つけて欲しいと思います。

あなたの感性を生かして

Q. 就活生へメッセージはありますか？

男性だけの視点であった業務に多くの女性の視点が入ることで、新たな「消防」が築き上げていけると私は思っています。男性消防士が長い年月をかけて培ってきた「強さ」や「逞しさ」の中に女性としての「感性」を足すことで、西宮市消防局は新たなステージへと発展することができます。消防士になることに不安はあると思います。私もそうでした。ですが、不安だから努力できます。不安は成長の糧になります。「市民を守りたい」その志があれば大丈夫です。私たちと一緒に更に発展した西宮市消防局を作り上げていきましょう。

西宮市消防局の広報ビデオもご覧ください！！



西宮市消防局 女性職員の声

性別は個性のひとつ
“自分だからできること”

総務部 総務課 給与係長
階級 消防司令

平成14年入局。
救急隊、救急課を経て、令和3年より現職。
趣味は、手芸、旅行、映画鑑賞。
リフレッシュ休暇を利用してアメリカのディ
ズニーワールドへの家族旅行を計画中。



プライベートの充実が第一

Q. ワーク・ライフ・バランス
は？

私の場合、妊娠してから現在まで毎日勤務で働いていますが、産後も隔日勤務者として、現場で活躍している女性消防士もいます。家族構成や家庭環境はもちろん、子育てに対する考え方も人それぞれなので、個々の状況に応じて、柔軟に対応してもらえるのはありがたい。プライベートが充実していなければ、仕事でもよいパフォーマンスはできない」という上司の言葉はとても心強いです。



趣味の手芸を生かして
みやたん用の救急車ペ
ンダントを作りました。

「自分らしく」がモットー

Q. 男性ばかりの職場に入るこ
とに不安はありませんでした
か？

私は西宮市消防局の女性消防士1期生として採用されました。最初は、女性で運動経験もない私にできる業務があるのか不安でしたし、「パイオニア」と言われることにプレッシャーを感じていました。しかし、先輩や同僚に助けられながら、消防隊、救急隊、機関員等の様々な経験を積み、入局して6年後、念願であった救急救命士の資格を取得できたことが自信につながり、「自分だからできること」を考えるのが楽しくなりました。性別も個性のひとつ。これからも自分らしく、仕事に邁進します。

強い思いを持ち続ける

Q. 就活生へメッセージ
はありますか？

西宮市消防局の女性消防士は皆、スーパーウーマンではなく、ごく一般的な女性ばかりです。ただ、市民の助けになりたいという強い思いがあり、その思いを糧に業務に邁進しています。もし、消防という仕事に興味はあるのに、体力等の面で迷っているならば、その心配はいりません。思い切って飛び込んでみてください。市民の助けになりたいという強い思いを持って、私たちと共に西宮市を守っていきましょう。

西宮市消防局の広報ビデオもご覧ください！！



西宮市消防局 女性職員の声



憧れを職業に
使命感を原動力に

警防部 指令課 消防主任
階級 消防司令補

平成14年入局。
予防係、警防隊、機関員、救急救命士を経て、
令和元年より現職。
趣味は、ドライブ、カラオケ、キャンプ。

消防士の姿に憧れを抱く

Q. この仕事を選んだ理由は？

西宮市内の中学校で唯一「少年消防クラブ」がある中学校に通っていました。最後の1年間だけでしたが消防部に入部し、そこで出会った消防士さん達や消防車に憧れて消防士を目指しました。



休日は、ドライブに行き、綺麗な景色を見て楽しんでいます。

使命感が原動力

Q. 仕事をしていて、どのようなときに「やりがい」を感じますか？

現在、指令課で通信指令員として勤務しています。助けを求める「声」だけで災害の状況把握や傷病者の緊急度・重症度を判断し、出動指令を行わなければなりません。また通報者の状態によっては聞き取りが困難なこともあります。現場活動とは違った緊迫感やプレッシャーを感じますが、活動隊と連携して対応することにやりがいを感じます。

自分らしさを大事に

Q. 就活生へメッセージはありますか？

近年女性消防士の活躍の機会は増えており、自分自身の力を活かせる場が必ずあると思っています。西宮市消防局には様々な経歴の女性消防士が働いていますが、あなただけの生き方を消防で見つけてください。一緒に頑張りましょう。

西宮市消防局の広報ビデオもご覧ください！！



西宮市消防局 女性職員の声



女性消防士だからこそ
“自分らしさ”を武器に

西宮消防署 警防総括第2係
階級 消防士

平成21年入局。
趣味は旅行で、日本各地の観光をしたり、名産を食べ歩くことが大好き。
休日は子どもたちと外で遊んだり、自宅ではアニメや映画観賞等をして過ごしている。

福利厚生も充実！

Q. 仕事と家庭の両立は？

育児休業から復帰直後の不安は、計り知れないものがありました。しかし、仕事と家庭の両立に慣れない私を、家族や同僚が理解し、支えてくれたからこそ、乗り越えることが出来ました。また、西宮市は福利厚生も充実しており、子どもと過ごす時間も十分に確保できます。これからも仕事と家庭の両立に奮闘する日々が続きますが、その分やりがいもひとしおです。



休日、子どもたちと一緒に畑仕事をした時の風景です

女性消防士の業務も多様

Q. どんな仕事内容がある？

現在は、交替制勤務者の消防隊として火災現場等で活動しています。過去には救急救命士として現場活動を行い、また、はしご自動車等操作資格も取得しているため、はしご車での出動も経験しました。産後は、育児休業を取得し、仕事から一切離れていた時期もありました。復職後は、幼い子どもと過ごすことに配慮してもらい、毎日勤務者として予防業務に携わりました。このように、いろいろな業務が経験できることも、西宮市消防局の魅力です。



毎年、桜の季節には散歩を兼ねて家族と訪れる場所です

自分らしさを大事に

Q. 就活生へメッセージはありますか？

今あなたが持っている希望や不安は、仕事を続けていく上でどう変化させるか、自分のモチベーション次第だと思います。男性消防士の担当業務や得意分野が多様多様であるように、女性消防士の業務や得意とする分野も人それぞれです。その異なる観点から、女性消防士としての働き方を考え、実際に働く中で見えてくる目標もあると思います。その中で“自分らしさ”を見出し、それを武器に活躍の場を広げて欲しいと願っています。

西宮市消防局の広報ビデオもご覧ください！！



西宮市消防局 女性職員の声



市民を助けたい
その思いで成長できた

鳴尾消防署 救急第2係
階級 消防士

平成21年入局。
警防隊、予防係を経て、平成25年より現職。
趣味は料理、CrossFit（筋トレ）、猫。

消防士の姿に憧れを抱く

Q. この仕事を選んだ理由は？

学生の時、交通事故に偶然居合わせ、救急車をお願いすることがありました。当時は怪我をした方の傍らに居ることしかできませんでしたが、救急車がやってきた時の安堵感は今でも鮮明に覚えています。その時に「私も救急車に乗りたい!」と思ったことがきっかけです。



休日の様子です。
趣味のCrossFit（筋トレ）
を楽しんでいます。

困っている人に寄り添う

Q. 仕事をしていて、どのようなときに「やりがい」を感じますか？

救急車に乗っていると、女性の救急隊員がいることに驚かれるとともに、女性が来てくれて良かった!とのお声をいただくことが多くあります。特に、女性特有の疾病で困らている市民の方や、お子様の患者様により必要とされていると感じます。おそらく、私たちが現場で市民の方々にお会いする時は、人生で一番困っておられる時です。その時に少しでも不安を和らげることができるこの仕事は大変やりがいがあると思っています。

自分らしさを大事に

Q. 就活生へメッセージはありますか？

私は運動経験が全くなく、消防の世界に飛び込んできました。屈強な体力はもちろんなく、不安でたまらなかった日々でした。しかし、役に立たないながらも、少しずつでも仕事で足を引っ張らないように過ごしていくうちに、何とか15年仕事を続けることができました。最初から完璧な人はいません。成長速度も人それぞれです。自分らしく取り組みながら、一緒に市民の方々の安心・安全を守りましょう。

西宮市消防局の広報ビデオもご覧ください!!



西宮市消防局 女性職員の声

感謝の言葉を力に変えて
初心の気持ちを忘れずに

西宮消防署 救急第1係
階級 消防士

平成29年入局。
出身地：大阪府
趣味は登山、愛犬の散歩。
百名山をすべて登頂するのが密かな夢。



消防士の姿に憧れを抱く

Q. この仕事を選んだ理由は？

私は、中学高校大学と部活動でバレーボールをしていました。高校生のときに部活動中に大怪我をし、救急車にお世話になりました。不安で絶望感に襲われていた私に対し、救急隊の方は優しく声をかけて、勇気づけてくれました。このことがきっかけで、「消防士」という仕事に憧れを抱き、志すようになりました。



登山に行った時の写真です

守りたいという強い使命感

Q. 消防士として必要な資質は何だと思いますか？

消防は、災害から市民の命や財産を守る仕事です。そのため、「市民を助きたい」という強い使命感を持つことが何よりも大切だと思います。また、災害現場では常に危険と隣り合わせです。そのため、個々の能力以上に隊で連携するチームワークこそが、最善の活動につながります。常に冷静に状況を判断し行動できる能力も必要だと思います。しんどいこともあります。市民の方から感謝の言葉をいただいた時には、何にも代えがたいやりがいを感じます。

勇気を出して一步踏み出して

Q. 就活生へメッセージはありますか？

「消防」という仕事を調べるほど体力面や様々な面で不安に思うことが多いかと思っています。実際、私もその1人でした。しかし、仕事を始めてみると、上司や先輩が優しくアドバイスしてくださるので、女性でも働きやすい環境だと感じています。体力や筋力は性差があり、悔しい気持ちを持つこともあります。その分私にしかできないことを見つけて一生懸命に取り組んでいます。必ず活躍できる場所は一人ひとりにあると思っています。「なりたい」という強い気持ちをもって採用試験に挑戦してください。一緒に働ける日を楽しみにしています。

西宮市消防局の広報ビデオもご覧ください！！



西宮市消防局 女性職員の声

「女性がいてくれてよかった」。
その言葉が私の原動力。

北消防署 救急第1係

階級 消防士

令和元年入局。
趣味はフローヨガ、カフェ巡り、読書。
4歳から14年間、水泳とピアノをしていた。



女性救命士の姿に心を打たれ、決意

Q. この仕事を選んだ理由は？

小学生の頃、避難訓練で講習をしてくれた消防士の方々の姿を見て、憧れと興味を持ったのが始まりでした。興味はあったものの、その当時は消防士は男性の職業だという認識が強く、他の職業に進もうと思っていました。

しかし、女性の救急救命士が活躍するテレビドラマを見た時に心を打たれ、私もこんな風に困っている人のもとにいち早く駆けつけ、命を救う仕事に就きたいと強く思い、救急救命士の資格を最大限に生かせる消防士を選びました。



ヨガを始めてから、柔軟性が高まりました。

一つ一つの達成感がやりがいに

Q. 男性の多い職場で働くことに不安はありませんでしたか？

私が最初に配属された警防救助係は主に警防隊員として活動するため、消防署に配属された当初は、女性である私が足を引っ張ってしまうのではないかと不安がありました。

しかし、上司や先輩方が日々熱心に指導して下さるので、訓練を重ね、現場を経験していくうちに活動への不安が少しずつ自信へと変わっていきました。「私でも警防隊員として活動できるんだ」と実感できたことで仕事への不安がなくなり、一つ一つの達成感がこの仕事へのやりがいに繋がります。

様々な業務で活躍できます！

Q. 就活生へメッセージはありますか？

消防という仕事は火災現場で活動する体力重視の職業というイメージがありますが、女性消防士の先輩方は、救急現場や指令課、予防係など、様々な分野で活躍されています。

ただ、西宮市消防局では全職員に対する女性の割合がまだまだ少ないのが現状です。だからこそ、皆さんが貴重な存在であり、女性であることを活かし、活躍できる新しい可能性を秘めていると思います。

西宮市で、皆さんと働ける日を心待ちにしています！

西宮市消防局の広報ビデオもご覧ください！！



周囲の支えに感謝して
どんなことにも積極的に

瓦木消防署 警防救助第2係
階級 消防士

令和3年入局。
出身地：西宮市
マイブームは休日に西宮市内のご飯屋さんを
巡ること。趣味はスキューバダイビング。



救急救命士の姿に憧れを抱く

Q. この仕事を選んだ理由は？

小学生の時に、西宮市の救急隊に助けってもらったことがきっかけで、その時から救急救命士に興味を持つようになりました。調べるうちに救急救命士が活躍できる場所がたくさんあると知りました。その中でも困っている人のところへ一番に駆けつけて、救急現場の最前線で活動することができる消防士を選びました。



休日はスキューバダイビングなどしてリフレッシュしています！写真は海中で出会ったウミウシです。

感謝の言葉が原動力

Q. 仕事をしていて、どのようなときに「やりがい」を感じますか？

私がこの仕事にやりがいを感じる瞬間は、努力したことが形になって現れたときです。今まで出来なかったことが出来るようになったり、出動先で「ありがとう」と言っていただけたり、自分の行動が認められると嬉しく思います。また、自分の努力次第で大きく成長することができ、市民の方々のために働く責任や、使命感を感じながら職務にまい進できることにもやりがいを感じます。

不安を力に変える

Q. 就活生へメッセージはありますか？

「消防士」と聞くとほとんどの方が屈強な男性を想像すると思います。そんな中で働くことを考えると、体力面など、不安でいっぱいだと思います。しかし、その不安は先輩方や上司の方々の支え、また同じ女性職員の方々の協力があるので、乗り越えることができている。求められることは、男性並みの体力ではなく、「私らしさ」だと思っています。自分が働いている姿を想像して頑張ってください。皆さんと働ける日を楽しみにしています。

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 女性職員の声

消防 女士

鳴尾消防署 警防総括第1係
階級 消防士

令和4年入局。
出身地：福岡県
趣味は、旅行やキャンプをすること。

周りの環境に感謝し、
何事にも前向きに



消防士の姿に憧れを抱く

Q. この仕事を選んだ理由は？

平成23年に発生した「東日本大震災」の被災状況をテレビで見っていました。消防、自衛隊など沢山の皆さんが被災地で活動している様子を見て、私も人の命を助ける仕事に就きたいと考えようになりました。様々な仕事がある中で、助けを求めている人に1番最初に駆け付けることができる「消防」という仕事に強く興味が湧くようになりました。



休日は同期と過ごすことが多いです。阪神甲子園球場に応援に行きました！

様々な業務が西宮市を守ります

Q. どんな仕事内容がある？

現在24時間勤務の警防隊として活動しており、予防係を担当しています。予防係は、西宮市内にある建物の消防用設備の維持管理や、火災が起こらないように防火指導を行っています。消防には様々な業務があり、一つひとつが西宮市を守ることにつながっていることを実感しています。これからのライフプランによってどのような仕事に従事するかわかりませんが、女性の先輩方のように様々な形で、消防の仕事に関わっていきたいです。

男女関係ありません

Q. 就活生へメッセージはありますか？

私は就職活動の際、女性職員がどのように消防で働き、業務は何ができるかなど様々な不安がありました。しかし、「西宮市消防局女性職員の声」を見た際に、先輩の女性職員が様々な形で活躍している様子を知ることができ、西宮市を選んだきっかけの一つになりました。実際に働いてみると、男女関係なく様々な業務に従事でき、周りの方々もサポートしてくださり、働きやすい環境だと感じています。一緒に西宮市で働くことを楽しみにしています。

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 女性職員の声



北消防署 警防救助第2係

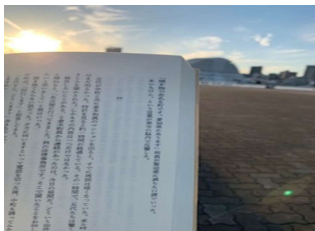
階級 消防士

令和4年入局。
趣味は、洋服、アニメ鑑賞、ネコ

消防士の姿に憧れを抱く

Q. この仕事を選んだ理由は？

中学生の時に祖父を事故で亡くしました。その時に駆け付けてくれた救急隊、警防隊の活動を後から聞き、どんなに厳しい状況であったとしても、決して諦めることなく処置をしてくださったことに対する感謝の気持ちと、誰かのために全力を尽くす姿に感銘を受け消防士を志しました。



休日の様子です。
天気の良い日は、BEKOBEで本を読んでいます。

自分らしさを大事に

Q. 休日やプライベートの過ごし方は？

インドア派なので登山やキャンプをする事はありません。私の休日ルーティンは、午前中はベッドに寝転びながらアニメを見ます。午後は、そのままアニメを見続けるか、洋服を買いに行きます。基本的にはこの流れですが、その他に読書や美容の勉強、友人と遊んだりしています。

悔しさをバネに

Q. 就活生へメッセージはありますか？

就職活動中、周りの人たちが先に内定をもらい焦りを感じる時が来るかもしれませんが、自分が将来消防職員として働いている姿を想像したり、絶対に合格してやるという強い気持ちを持っていれば、男女問わず合格に繋がると思います。



ウーちゃん カンちゃん

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 女性職員の声



失敗を恐れず
一歩前へ

西宮消防署 警防救助第1係
階級 消防士

令和5年入局。
出身地：大分県
趣味はグルメ巡り、国内観光旅行

消防士の姿に憧れを抱く

Q. この仕事を選んだ理由は？

小学生の頃、テレビで東日本大震災を見て子供ながらに衝撃を受けました。それから、医療従事者として災害派遣医療チーム（DMAT）として働きたいという夢を抱くようになりました。しかし、将来について調べていくうちに、常に現場の最前線で命に携わる職業が消防士だということを知り、専門学校で救急救命士の資格を取得し入局しました。



沖縄へ
行った時の写真です。

モチベーションを持って

Q. 今後の目標は？

現在は、24時間勤務で警防隊として働いていますが、予防係や救急隊、様々な分野に挑戦していきたいと思っています。男性と体力の差はあっても女性だから出来ない仕事はありません。だからこそ、それぞれの分野で多くの技術・知識を得て、様々な分野で活用し、女性ならではの感性を發揮していきたいです。
私もまだまだ未熟なので、日々努力し、みなさんともっと女性が働きやすい職場を作っていければいいなと思います。
一緒に頑張りましょう！

自分らしさを大事に

Q. 就活生へメッセージ
はありますか？

訓練はもちろんですが、現場に出ても体力面で男性に劣る部分も多く、思うように動けないこともあります。しかし、女性だからできること、女性にしかできないこともあります。職場の方々も、優しく支えてくれ、とても成長できる環境であると思います。
また、私は出身地が西宮市ではありませんが、綺麗な街並みで、美味しい飲食店も沢山あるのでプライベートも充実しています。休暇も取りやすいので、旅行や地元に戻ることも可能です。

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 女性職員の声

一人ではなく、お互いに助け合いがあるから何事も頑張れる

消 防
女 士



瓦木消防署 警防救助第1係

階級 消防士

令和4年入局。
趣味は韓国ドラマを観ること、旅行すること。
最近は、NETFLIXのトークサバイバーにはまっている。

消防士の姿に憧れを抱く

Q. この仕事を選んだ理由は？

この仕事に就く前は、空港で働いていました。転職を考えている時に、女性で消防士の友人がおり、その友人から消防の仕事について話を聞き、興味を持ち、消防の仕事に就きたいと思うようになりました。私は小さい頃から体が動かすことが好きで、誰かの役に立つ仕事がしたいと思っていたので、友人に背中を押してもらい消防を受験しました。



旅行で行った長崎の
ガラスの砂浜の写真です。

休日にリフレッシュ

Q. 休日やプライベートの過ごし方は？

休みの日が平日になる事があり、人が少ない時に外出できる事は、交替制勤務ならではの事です。休日は外に出かけるか、家でNETFLIXを観ることが多いです。今年初めてキャンプに行き、自然の中での料理や友人との食事を経験し、非現実的な空間にハマってしまいました。近いうちに、冬キャンプに挑戦しようと思っています。また、今年から一人暮らしを始めて、夜ご飯を友人数人と作ったり、食べたりできて充実した休日を過ごせています。

自分らしさを大事に

Q. 就活生へメッセージはありますか？

今はたくさんの悩みや不安があると思います。私も就活をしている時は、男性職員が多く体力や筋力の面で劣っているのではないかと考える事が多くありました。しかし、西宮市消防局には女性消防士の先輩方がたくさんいます。また様々な業務に携わっています。「消防士になりたい」という強い気持ちを持って、頑張ってください。くじけそうになった時は、自分が消防士になりたいと思った時の気持ちを思い出してみてください。一緒に働ける日を楽しみにしています。

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！

